令和２年８月 11 日

各　位

会　社　名　株　式　会　社　ｓ　Ｍ　ｅ　ｄ　ｉ　ｏ
代 表 者 名　代 表 取 締 役 社 長　岩 本　　定 則
（コード番号：3913 東証マザーズ）
問 合 せ 先　取締役経営企画室長　北 埜　　弘 剛
（TEL.03-6262-8660）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○　開催状況

開催日時	令和２年８月 11 日　15：30～16：10
開催方法	オンラインによる開催
説明会資料名	2020 年 12 月期第 2 四半期　決算説明資料

【添付資料】

説明会において使用した資料「2020 年 12 月期第 2 四半期　決算説明資料」

以上



2020年12月期第２四半期
決算説明資料

2020年8月11日

株式会社sMedio

（東証マザーズ：3913）

本資料の複写、転用はしないで下さい

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

目次

2020年12月期 第2四半期決算ハイライト

- 決算総括 …… 4
- 連結業績概要 …… 5

事業ハイライト

- 2020年事業戦略 …… 11
- ﾃﾞｼﾞﾀﾙ家電ｿﾌﾄｳｪｱ 上期ﾊｲﾗｲﾄ …… 12
- AI ＋ IoTｿﾘｭｰｼｮﾝ 上期ﾊｲﾗｲﾄ …… 16
- ｻｰﾋﾞｽ収入ﾓﾃﾞﾙ立ち上げ 上期ﾊｲﾗｲﾄ …… 18

その他

- バイクシェア …… 21
- 下期の方針 …… 22

補足資料

- 会社概要 …… 24
- 当社のミッション …… 25
- 新4K/8K衛星放送視聴可能機器台数 …… 26
- 本資料の取扱いについて …… 27

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.



sMedio

2020年12月期第2四半期

決算ハイライト

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

2020年12月期 第2四半期連結決算総括

- 営業利益は、46百万円の黒字（前年同期は69百万円の赤字）となり、四半期ベースで、４・四半期連続で営業利益を計上。
- 売上高（4億82百万円）は、計画（5億1百万円）を下回ったものの、前年同期（4億37百万円）を44百万円上回った。
- 最終損益は、24百万円の黒字。
- 営業キャッシュ・フローは、損益が黒字化したこと等で、1億63百万円の黒字（前年同期は2億93百万円の赤字）となった。
- 総資産12億79百万円、現預金7億83百万円、純資産11億22百万円と、財務の健全性は維持。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

2020年12月期 第2四半期連結決算決算概要

	2018年 1-6月	2019年 1-6月	2020年 1-6月	前年同期比 (増減額、増減率%)		2020年 1-6月計画
売上高	5億34百万円	4億37百万円	4億82百万円	44百万円	8.4	5億1百万円
売上原価	2億60百万円	2億62百万円	2億4百万円	△58百万円	△22.4	2億88百万円
販管費	2億44百万円	2億44百万円	2億31百万円	△13百万円	△5.5	2億8百万円
営業利益	29百万円	△69百万円	46百万円	1億16百万円	黒転	5百万円
営業利益率	5.4%	△15.9%	9.7%	+25.6%p	－	1.0%
経常利益	29百万円	△68百万円	46百万円	1億15百万円	黒転	5百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	12百万円	△70百万円	24百万円	94万円	黒転	△1百万円

（売上高）前期に開発に取り組んだ4K/8Kテレビ向けのロイヤリティ収入が寄与し、44百万円の増加となった。

（販管費）研究開発費が11百万円増加した以外は目立った増加がなかった一方、新型コロナウイルス感染拡大により、出張自粛等で発生経費が少なくなり、13百万円減少した。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

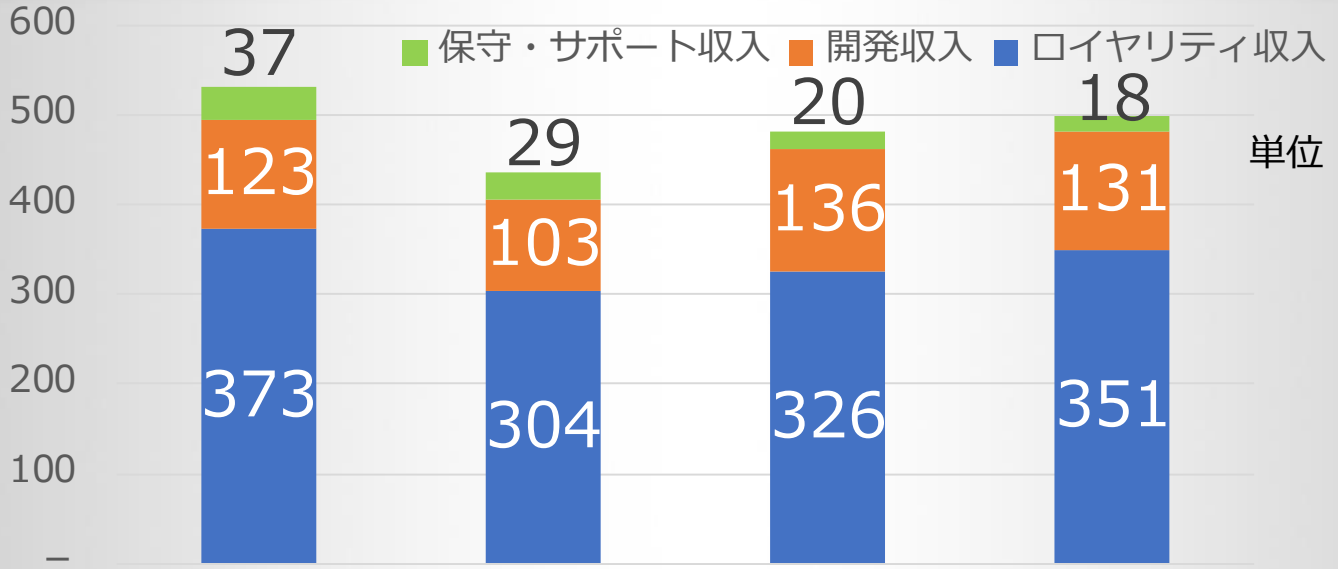
3ヶ月決算概要

	2019年		2020年	
	1-3月	4-6月	1-3月	4-6月
売上高	2億22百万円	2億14百万円	2億66百万円	2億16百万円
営業利益	△44百万円	△24百万円	37百万円	9百万円
営業利益率	△19.8%	△11.5%	14.0%	4.4%
経常利益	△43百万円	△25百万円	38百万円	8百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	△45百万円	△24百万円	22百万円	2百万円

売上高は、1Qと2Qともに前年同期を上回り、営業利益も黒字化した。
（注：営業利益の黒字化は、2019年7-9月期から４・四半期連続）

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

(参考)収益区分別の売上高



単位：百万円未満切捨て

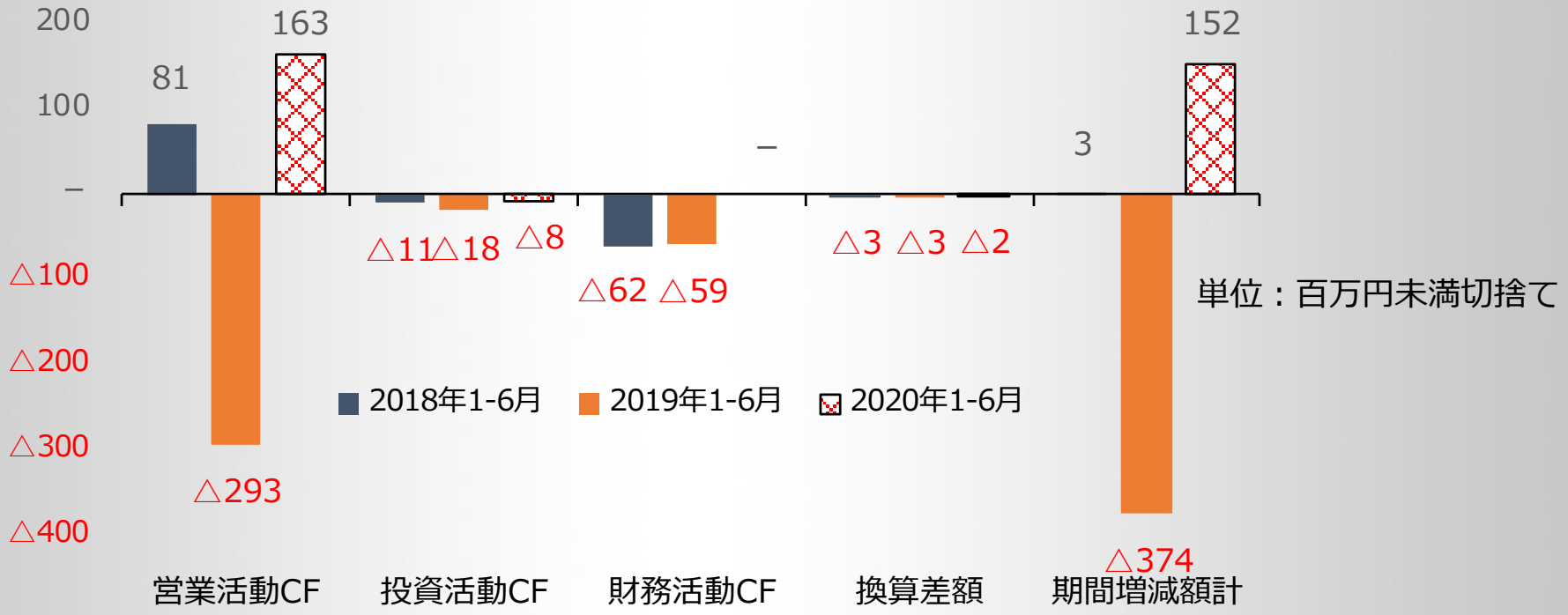
連結売上高合計	534	437	482	501

（ロイヤリティ収入）
　計画していたロイヤリティ案件がなくなった影響もあり、計画値には届かなかったが、前期にロイヤリティ収入の底上げのために取り組んだ4K/8K向けの開発の成果が出て、前年同期比では21百万円の増収となった。

（開発収入）
　開発時期の見直し等の影響があったが、概ね計画通りに納品でき、売上規模が上振れた案件もあり、全体として計画値を若干上回り、前年同期比で32百万円の増収となった。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

連結キャッシュ・フロー概要



（営業活動によるCF）
　前年同期はロイヤリティの前払いがあったことで、営業活動によるCFはマイナスとなっていたが、当2Qは、最終利益24百万円を計上したこと等もあり、163百万円のプラスとなった。

（財務活動によるCF）
　前期中に借入金を全額約定返済したことで、当2Qの財務活動によるCFはゼロとなった。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

連結BS概要

単位：百万円未満切捨て

資産	2018年12月末	2019年12月末	2020年6月末	前期末比
現金及び預金	1,083	631	783	152
売掛金	47	48	29	△19
仕掛品	26	21	17	△4
原材料及び貯蔵品	92	374	336	△38
その他	16	24	13	△11
流動資産合計	1,266	1,101	1,179	78
有形固定資産	21	22	22	0
ソフトウェア	24	14	13	△1
のれん	85	42	29	△12
その他	1	1	1	△0
無形固定資産合計	111	58	43	△14
投資その他資産	50	40	34	△6
固定資産合計	183	120	100	△20
資産合計	1,450	1,222	1,279	57

負債・純資産	2018年12月末	2019年12月末	2020年6月末	前期末比
買掛金	49	20	7	△12
短期借入金	124	–	–	–
賞与引当金	2	2	10	8
未払法人税等	6	7	17	9
その他	83	88	111	23
流動負債	265	118	147	29
固定負債合計	8	8	9	1
負債合計	274	126	157	30
資本金・資本剰余金	1,176	1,175	1,162	△12
利益剰余金	219	134	158	24
自己株式	△227	△219	△201	18
その他	7	5	2	△2
純資産合計	1,175	1,095	1,122	26
負債・純資産合計	1,450	1,222	1,279	57

・四半期純利益の計上(24百万円)などで、現預金は152百万円増加した。
・株式報酬のために自己株式を活用したことで、自己株式は減少した。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.



sMedio

2020年12月期第2四半期

事業ハイライト

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

2020年事業戦略（2020年2月7日発表）

	1 デジタル家電 ソフトウェア	2 建設AI + IoT ソリューション	3 サービス収入モデル 立ち上げ
環境	• 2019年12月時点で新4K/8K衛星放送視聴可能機器の国内出荷が312万台に到達 *1 • PC、スマホ向けソフトウェア搭載需要が回復傾向	• 必要労働者の不足（2025年で130万人の不足） *2 • i-Construction(国交省による建設現場へのICT導入促進)	• (課題)ロイヤリティ収入や開発収入は顧客環境に左右されてしまうため、新たな収入モデルを構築し、収入モデルのポートフォリオ化が必要
事業戦略	**ロイヤリティ収入案件の積み上げを最優先** • 既存製品の営業プッシュ。 • 新4K/8K対応組込みブラウザ機能拡張。 • 大手家電メーカー ４Kレコーダー向けソフトウェア納入。	**サービス収入案件の積み上げを最優先** • 「切羽AI評価システムサービス」パッケージの横展開。 • さらなるサービスパッケージ開発、販売。 • コンクリート、アスファルトAI解析等	**製品ラインナップの拡充** • スマホ販売店向けJSバックアップの横展開。 • 建設AIサービスパックのラインナップ拡充。

*1 一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)が、2020年1月24日に開催した「新4K8K衛星放送 視聴可能機器台数公表 記者発表会」の資料から抜粋。
*2 国土交通省が、2015年12月に発表したi-Construction委員会の資料から算出。

Copyright © sMedio, Inc. All Rights Reserved.

デジタル家電ソフトウェア 上期ハイライト

1 デジタル家電ソフトウェア

- 2019年12月時点で新4K/8K衛星放送視聴可能機器の国内出荷が312万台に到達 *1
- PC、スマホ向けソフトウェア搭載需要が回復傾向

ロイヤリティ収入案件の積み上げを最優先

- 既存製品の営業プッシュ。
- 新4K/8K対応組込みブラウザ機能拡張。
- 大手家電メーカー ４Kレコーダー向けソフトウェア納入。

- **4K高解像度再生ソリューション「VAlution BD(4K対応版)」が、累計1800万ライセンスを達成**
- **組込みブラウザ「Tourbillon」が、累計2300万ライセンスを達成**
- **スマートテレビ（Android TV™）向け製品「TrueDVD Streamer for Android™」を発表、４社で採用**
  - バッファロー社（日本向け）
  - アイ・オー・データ機器社（日本向け）
  - ロジテック社（日本向け）
  - 海外光学ドライブメーカー A社（海外向け）
- **大手国内PCメーカーに、新たに２製品採用決定**
  - 「sMedio スマホデータ転送」と「TrueDVD/TrueBD」2021年のロイヤリティ収入に貢献。
- **新4K/8K対応ブラウザの機能拡張**
  - 案件受注済み。2021年出荷製品搭載に向けて、鋭意開発中。2021年のロイヤリティ収入に貢献。
- **大手家電メーカー 4Kレコーダー向けソフトウェア**
  - 案件受注済み。最終納品に向けて鋭意開発中。

*1 一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)が、2020年1月24日に開催した「新4K8K衛星放送 視聴可能機器台数公表 記者発表会」の資料から抜粋。

Copyright © sMedio, Inc. All Rights Reserved.

TrueDVD Streamer for Android TV™（スマートテレビ向け製品）

シャープ AQUOS™、ソニー BRAVIA™などの スマートテレビ(Android TV™)でDVD再生を可能にするアプリ

ラクみる

DVDミレル

TrueDVD



- ✓ Android™を搭載したスマートテレビにUSB ディスクドライブを接続するだけでDVD視聴を可能にするアプリ。
- ✓ PC用の小型かつ廉価なDVDドライブを使用でき、テレビとの接続がケーブル1本のみで完結するため、「 DVDドライブは必要な時だけ接続する」という新たな使い方が可能に。
- ✓ 主要DVDドライブメーカーが対応製品を発売。日本国内のほか、ヨーロッパ、東アジアでも対応製品を展開中。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

sMedioスマホデータ転送 (スマートフォン PC連携アプリ)

スマートフォンとWindows® PC間で、簡単に写真、動画やファイルの送受信を可能にする連携アプリ





クラウド転送





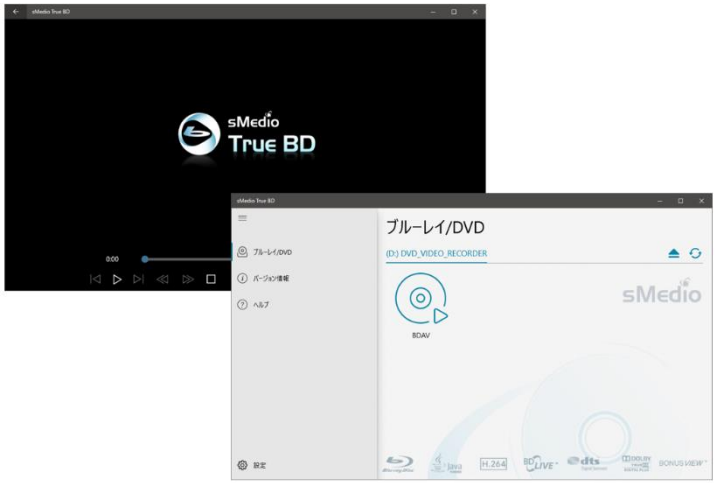
パソコン、スマホを選ばず、
バーコードか暗証番号を伝えれば
どこにでも、誰にでも、
安全にファイル送信

- ✓ **パソコンとスマートフォンの容易なデータ連携を実現するアプリ。**
- ✓ **設定、登録などの煩わしい作業や、転送に失敗するリスクを可能な限り排除し、誰でも簡単、確実に使える仕様に。**
- ✓ **スマートフォンとの連携機能を求めるPCメーカに好評。**
  Dynabook社製パソコン全機種に2018年から搭載中のほか、他のPCメーカー等にも拡販中。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

True DVD / True BD (DVD/BDディスク再生アプリ)

Windows® 10専用
Blu-ray Disc™/DVDプレーヤーアプリ



sMedio True BD

sMedio True DVD

最新のWindows® 10
プラットフォームで開発

Windows®10 Universal Apps

Microsoft Store



国内市場で必須の
テレビ録画ディスク再生対応

- ✓ 使いたいときにパッと起動する高速動作。
- ✓ PCメーカーの求める最新のテクノロジーや、日本国内市場の特殊なニーズに対応。
- ✓ 国内外の大手PCメーカーが正式採用。搭載機は世界数十か国で販売中。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

AI + IoTソリューション　上期ハイライト

2 建設AI + IoT ソリューション

- 必要労働者の不足（2025年で130万人の不足）*1
- i-Construction(国交省による建設現場へのICT導入促進)

サービス収入案件の積み上げを最優先

- 「切羽AI評価システムサービス」パッケージの横展開。
- さらなるサービスパッケージ開発、販売。
  - コンクリート、アスファルトAI解析等

- **「切羽AI評価システムサービス」商用運用開始**
  - 2020年4月1日に自社パッケージ版サービスイン。
  - 3社の建設会社様にて採用決定。
    - 西松建設社
    - 不動テトラ社
    - 建設会社 A社 （2020年10月スタート）
  - 演算工房社「CyberNATM連携」
    - 連携により新たな顧客の開拓加速を期待。
- **建設サービスパッケージの拡充**
  - 掘削サイクル判定のパッケージ化を先行開発着手。
- **AI開発人員の増員**
- **インテル社のIntel AI Buildersのメンバーに認定**

*1 国土交通省が、2015年12月に発表したi-Construction委員会の資料から算出。

Copyright © sMedio, Inc. All Rights Reserved.

切羽AI評価システムサービス

トンネル掘削時の切羽評価をＡＩ画像処理で入力支援するサービス



- 撮影した切羽の画像を、ＡＩ画像認識エンジンにより自動判定し、人間のスコア入力の補助を行います。画像とスコアデータはクラウドで一元管理され、ウェブブラウザでデータの閲覧・編集ができるため、遠隔地から複数人でのデータ共有が可能になります。スコアはクラウドで自動的に観察簿に反映されるため、現場職員の負荷軽減と業務効率化に寄与します。
- トンネル掘削の過程で蓄積してゆくデータを用いてＡＩ学習モデルの品質向上を図り、常に増え続けるビックデータを用いたモデル構築を行います。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

サービス収入モデル立ち上げ 上期ハイライト

3 サービス収入モデル立ち上げ

- (課題)ロイヤリティ収入や開発収入は顧客環境に左右されてしまうため、新たな収入モデルを構築し、収入モデルのポートフォリオ化が必要

製品ラインナップの拡充

- スマホ販売店向けJSバックアップの横展開。
- 建設AIサービスパックのラインナップ拡充。

- **子会社の情報スペース社「JS バックアップ」**
  - 1400万ダウンロード/ライセンスを達成
  - 法人向け特別パッケージ展開開始
    - 「JS直接転送」と「JS記録保管」
    - 「JS直接転送」はソースネクスト社に提供開始、もう１社 採用決定。
    - 「JS記録保管」は１社で採用決定。

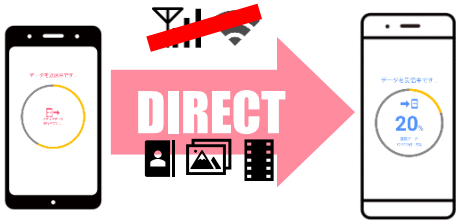
- **建設AIサービスパッケージの拡充**
  - 「切羽AI評価システムサービス」に続き、「掘削サイクル判定システムサービス」のパッケージ化に着手。

Copyright © sMedio, Inc. All Rights Reserved.

「JS 直接転送」および「JS 記録保管」

定番データバックアップツール”JSバックアップ”に
家電量販店・スマホ販売店向け機能を付加したプレミアムバージョン

データ移行に特化
“JS 直接転送”



販売店店頭でのデータ移行サービス用アプリ

プライバシーに配慮する量販店向けに
個人情報不要・ネット接続不要のデータ移行を実現

バックアップに特化
“JS 記録保管”



スマホ販売時のオプションサービスとして提供

月額有料サービスを前提とした
設定不要・データ保存量無制限のクラウドサービス

- ✓ **1400万ダウンロードを誇る定番スマホバックアップアプリ “JSバックアップ”を基に開発。**
- ✓ **シルバー層、スマートフォン初心者向け店頭サービスとして、家電量販店・スマホ販売店が求める機能を追加。**
- ✓ **JSバックアップ技術の収益モデルの構築を狙う。**
  大手スマートフォン販売店で採用済み。家電量販店、ショッピングモールなどへ、さらなる販路拡大中。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.



sMedio

その他

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

ドコモバイクシェア

子会社のタオソフトウエア社がドコモ・バイクシェア社自転車シェアリングサービス「バイクシェアサービス」向けにiOS/Android™アプリの設計・開発を担当。





Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

下期の方針

全　体

- 通期黒字化達成
  - 2019年Q3~2020年Q2の４四半期連続での連結営業黒字を達成
  - 2020年通期での黒字化を目標
- 製品・顧客層の拡大
  - デジタル家電ソフトウェア事業とAI+IoTソリューション事業でそれぞれ事業本部体制をとった成果として、製品ポートフォリオの充実、顧客層拡大につながりました。引き続き、この方針を継続していきます。

デジタル家電ソフトウェア事業

- 2021年のロイヤリティ収入につながるライセンス案件の積み上げ

AI+IoTソリューション事業

- 「切羽AI評価システムサービス」のさらなる拡販
- コンテック(建設 x IT)向け第２弾サービスパッケージの年内リリース

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.



sMedio

補足資料

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

会社概要

社　　名	株式会社ｓＭｅｄｉｏ　（東証マザーズ：３９１３）
所　在　地	東京都中央区新川2-3-1 セントラルスクエア 8F
設立年月日	2007年3月16日
代　表　者	岩本 定則
資　本　金	509百万円　（2020年6月30日時点）
従業員数	社員数68名（役員を含む）（支配権のある子会社含む：2020年6月30日時点）
子　会　社	㈱情報スペース、タオソフトウエア㈱、sMedio Technology(Shanghai)、sMedio America
開発拠点	中国：上海　日本：東京、岡山、福岡
主幹事証券	ＳＭＢＣ日興証券株式会社
監査法人	海南監査法人
主な取引先	Microsoft Corp.、 株式会社NTTドコモ、シャープ株式会社、Dynabook株式会社、 富士ソフト株式会社、株式会社アイ・オー・データ機器、ソースネクスト株式会社、 セイコーエプソン株式会社 （順不同）

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

当社のミッション

デジタル・トランスフォーメーションを加速する。

「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させる。」をキーワードとして製品・技術開発に尽力しています。

デジタル・トランスフォーメーション社会実現には、AI（人工知能）を活用したIoTプラットフォーム（情報基盤）をベースとしたサービスが不可欠であり、当社は、AIとIoTプラットフォーム分野への投資を強化しています。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

新4K/8K衛星放送視聴可能機器台数

新４Ｋ８Ｋ衛星放送　視聴可能機器台数

単位：千台

分　類		5月末累計	6月分	6月末累計
直接受信	① 新チューナー内蔵テレビ	2,830	285	3,116
	② 外付け新チューナー	246	2	249
	③ 新チューナー内蔵録画機	457	33	490
ＣＡＴＶ受信	④ 新チューナー内蔵ＳＴＢ	867	45	912
合　計		4,400	365	4,767

※ ①，②，③：JEITA 発表出荷台数、④：JCTA ヒアリングによる設置台数

（JEITA: 一般社団法人 電子情報技術産業協会　JCTA：一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟）

千台未満を四捨五入し表記しているため累計や合計が表記数字の計と一致しないことがあります

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)が、2020年7月21日に公表した「新4K8K衛星放送 視聴可能機器台数 2020年6月までの集計値」の資料から抜粋。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、2020年8月11日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。
  既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
  当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料に記載されている会社名および製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標になります。本資料内では、TM、®マーク等を省略している箇所があります。IOS(iOS)は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。AndroidはGoogle LLCの商標です。
- 本資料中の数値は、単位未満切捨てで表示しており、その影響で表中の合計と一致していない場合があります。

Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.



Copyright© sMedio, Inc. All rights reserved.